



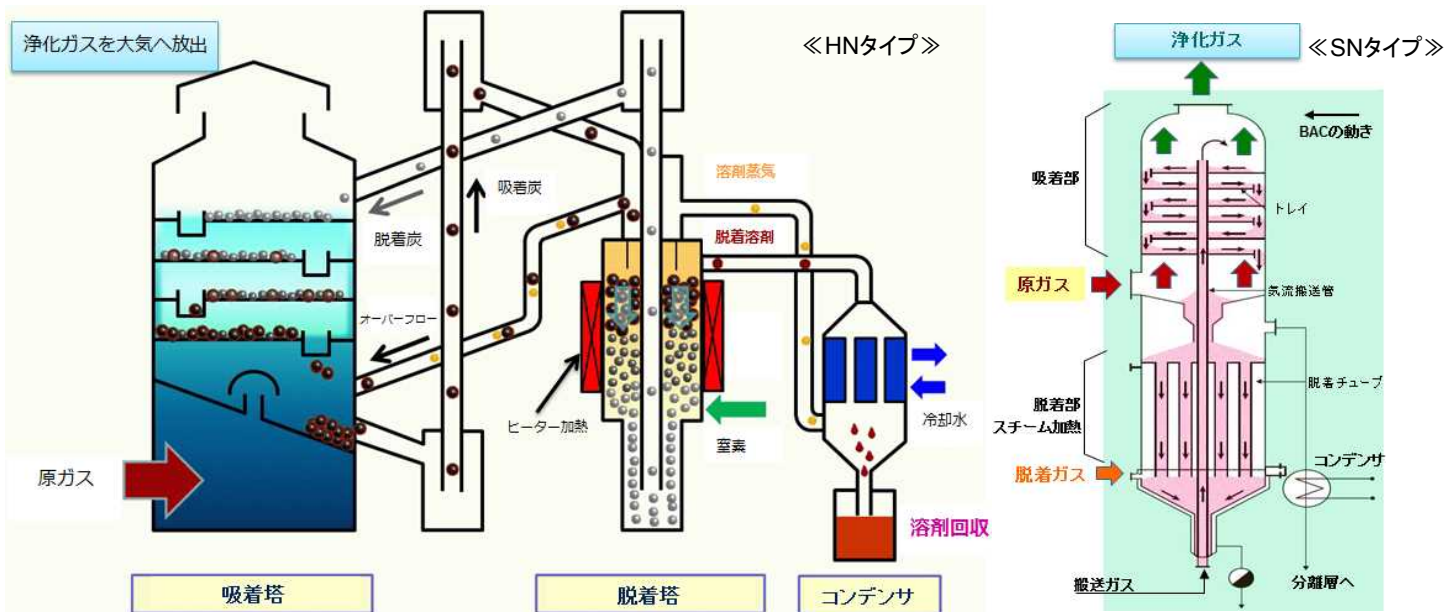
人と自然の未来のために

流動層吸着式 VOC回収・脱臭装置

GASTAK®

株式会社クレハ環境

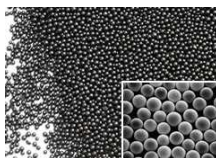
クレハ独自技術の球状活性炭の吸着⇔脱着により、「排ガスの浄化」と「VOCの回収」を実現した画期的な排ガス処理装置です。



特徴

① 真球性の高い高強度のクレハ球状活性炭を使用

- 硬度が高く容易に粉化しない。
- 小粒径であるため吸着速度が速い。
- 流動性に優れ、灰分が少ない。
- 賦活再生を繰り返し行ってもその吸着性能はほとんど変わらない。



② 流動床吸着方式を採用

- 吸着・脱着が均一である。
- 可燃性VOCに対しても安全性に優れている。
- 脱着に空気・窒素ガスを使用出来るため、廃水がほとんど出ない。
- 設置面積が小さく、専任の運転要員を必要としない。

概要 (技術原理、動作等)

吸着部

VOC成分を吸着除害。クリーンな処理ガスへ。

- ◇ 層高15~20mmの流動床を形成
- ◇ 原ガス中の溶剤成分または臭気成分を吸着
- ◇ 浄化されたガスは大気中に放出

脱着部

吸着したVOC成分を脱着。VOCガスとして回収。

- ◇ 吸着炭は間接加熱され、上向流の脱着ガスと向流接触
- ◇ 脱着溶剤はコンデンサで液化回収

気流搬送部

再び吸着塔へ戻り、吸着・脱着を繰り返す。

- ◇ 脱着された活性炭は気流搬送により吸着塔へ戻り、再び溶剤を吸着

株式会社 クレハ環境 環境営業部 環境プラント営業課

〒974-8232
福島県いわき市錦町四反田30

URL: <http://www.kurekan.co.jp/>

TEL: 0246-63-1358 FAX: 0246-63-1359



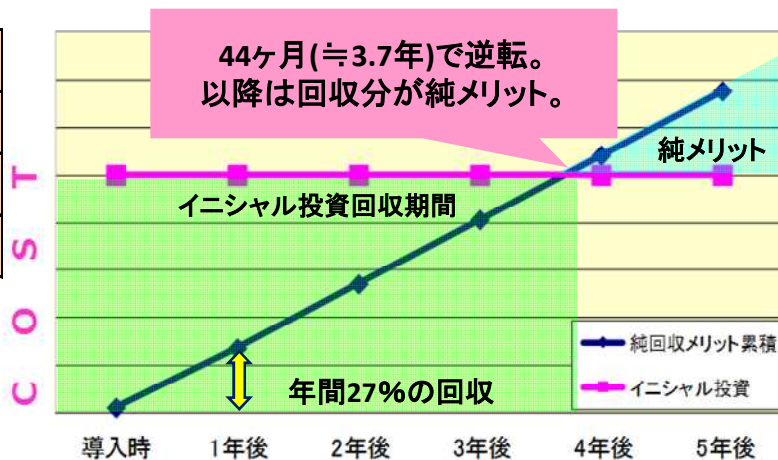
Team E-Kansai

導入によるコストメリット ～日本での納入事例～

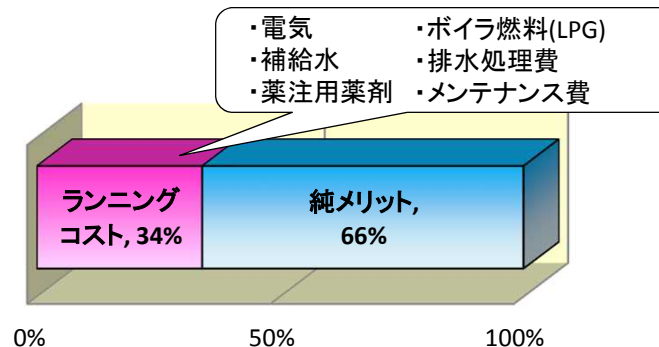
① ドライラミネータの排ガス処理

処理風量	850m ³ /min at58°C
対象成分	酢酸エチル860ppm
処理能力	出口濃度70ppm以下
溶剤回収量	130kg/h

② 溶剤回収～再利用構築によるコストメリット実績例

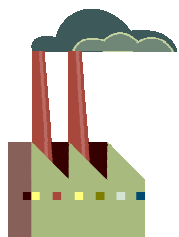


③ 初期投資回収率内訳の一例



初期投資に対して毎月約2.3%ずつ回収可能
(年間約27%)

CO2削減実績



《排ガス条件》

風量: 650N³/min

濃度: ★1MEK 1,580ppm

★2MCS 470ppm

年間稼働時間=8,000hの場合、

年間排出溶剤量= **2,082 t**

- ★1 MEK: メチルエチルケトン
- ★2 MCS: 2-メキシエタノール

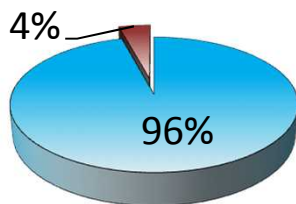
酸化分解(燃焼処理)の場合



排出溶剤量を燃焼することで
4,732 t-CO₂/y発生

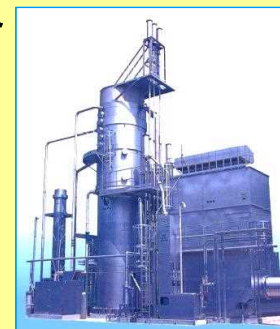
GASTAKによるVOC回収・排出の割合

- VOCとして回収可能
- VOCとして排出 = CO₂



GASTAK(回収処理)の場合

年間排出溶剤量
2,082t/yのうち96%回収
(≒ **1,995 t/y**を液化回収)



4,534 t-CO₂/yの排出削減

販売実績

- 日本全国の機器洗浄、半導体、印刷・インク工場等で約450台の実績
- 国外では、中国、台湾、アメリカ、カナダ、オランダ、ニュージーランド、シンガポール、ブラジルの企業での採用有

ISSUE 2015.Sep